

## ●本庁舎整備方針市民対話の成果「市民の想い」が完成しました

本庁舎整備方針の策定にあたり、市民の目線や市民感覚を最大限に取り入れることを目指し、5回にわたって市民対話を開催してきました。その内容を冊子「鎌倉市と本庁舎の未来にむけた市民の想い」（以下「市民の想い」という。）として取りまとめました。参加を希望された16名（高校生～70歳代）の方々に半年にわたって対話をしていただきながら、その過程で、公募による多くの市民の方々の声も集めました。

この「市民の想い」には、本庁舎という施設（ハードウェア）の整備方針にとどまらず、未来の行政のあり方や市民との関わり方（サービスや役割、機能、働き方）などのソフトウェアに関する示唆も多く含まれています。また、「本庁舎」という考え方をいったん取り払って、現在の本庁舎があるこの場所をどのように活かすことが市民の皆さまにとって良いのかなど、利用者目線から踏み込んだアイデアも含んだ内容になっています。



「市民の想い」の表紙

「市民の想い」は、大きく3つの章で構成されています。

第1章 本庁舎、こんな風に見えてます → 現在の本庁舎に対する市民の感覚

第2章 市民がもとめる本庁舎の姿とは？ → 未来の本庁舎に求める機能や役割

第3章 現在の本庁舎の場所のあるべき使われ方とは？ → 本庁舎機能にこだわらない場の使い方

「市民の想い」は以下の鎌倉市ホームページ及び右のQRコードから閲覧できます。

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/hontyosya-taiwa.html>



### (1) 「市民の想い」ができるまで

市民対話第1～3回までは、本庁舎の整備方針に市民の目線や市民感覚を取り入れるために、本庁舎に求める機能やサービス、本庁舎整備とまちづくりのあり方などについて、多様な意見等を出し合いながら進めてきました。第4回、第5回は、平成28年10月30日（日）、12月4日（日）にそれぞれ開催し、次のとおり取りまとめの作業を行ってきました。

### (2) 「市民の想い」ができるまで ～第4回 編集会議～

第4回の市民対話は、それまでの対話で出された意見を「市民の想い」としてまとめることを目的に、「編集会議」をイメージして進めました。まず、これまでに出された多様なアイデアを全員で整理し、その後、3グループに分かれて、「現在の本庁舎と本庁舎のある場所」、「本庁舎のあるべき姿」、「現在の本庁舎の場所で起きてほしいこと」について、それぞれ残したい大事なメッセージを抽出し、そのヘッドライン（見出し）を検討しました。そして、各グループの成果を共有した後、全体構成を確認し、「市民の想い」の核となるメッセージを固めていきました。



### 市民対話（第4回）の様子

これまでの対話のアイデアから共感できるものを抽出

抽出したアイデアを全体で共有

3グループに分かれてヘッドラインを検討

検討結果をもとに全体で意見交換

### （3）「市民の想い」ができるまで ～第5回 最終校正会議～

最終回となる第5回の市民対話は、前回の編集会議の成果に基づいた「市民の想い」の案が示され、その素案に磨きをかける「最終校正会議」をイメージして行われました。3つのテーマについて、市民として大切にしたい本庁舎のあり方や市民から鎌倉市に届けたい考え方について、深い対話が繰り広げられました。

6ヶ月間にわたる対話の成果は、「市民の想い」の最終改訂案として集約されました。市民対話の最後には、参加メンバーの代表者から松尾市長に小冊子「市民の想い」の素案が手渡されました。市長からは深い謝辞とともに、「市民の皆さんの鎌倉市と本庁舎への想いや考えを大切に、本庁舎の整備方針に活かしていきたい」という決意が述べられました。



「市民の想い」素案を受け取る市長

### （4）「市民の想い」ができるまで ～編集後記の挿入など～

半年にわたる市民の皆さんの対話の結晶としてできあがった「市民の想い」は、その想いをより明確に伝えるために、文章に挿絵を添えるとともに、対話に参加されたメンバーの皆さんからのメッセージ（テーマ：鎌倉のこれからの50年に向けて、大切にしたいこと）を「編集後記」として加えるなど、全体の編集を経て完成させました。



挿絵の一例

「市民の想い」は、市長、本庁舎整備方針策定委員会のメンバーをはじめ、関係者と広く共有し、本庁舎整備方針の策定のための大切な参考資料となりました。また、この「市民の想い」は、前述しましたとおり鎌倉市ホームページに掲載しており、市内外の多くの方にご覧いただけるようになっています（市役所本庁舎3階にある行政資料コーナーでも閲覧可能です。）。

半年にわたった市民対話（協働・拡張ワークショップ含む）に参加いただいた市民の皆さん、生徒・学生の所属する学校関係者など多くの関係者に、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

なお、今後の本庁舎の整備を含めて公共施設再編の取組にあたって、引き続き市民の皆さんに参画していただく場を設けながら進めていきます。

